

みんなであゆみ

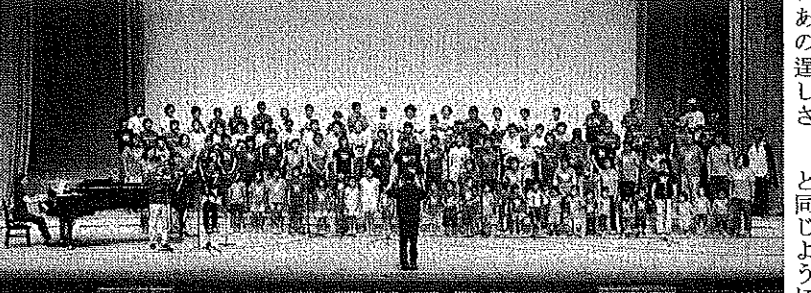
今年後援会会員
333名
(目標1000名)

全国母親大会で『ぞうれっしや』を歌う！

7月30日広島国際会議場で「みんな、輝きました！」母親大会の全国大会が、はじめて被爆地である、広島で開催されました。その歓迎のレセプションでも、このコンサートに、「あゆみ」も参加してもらいました。半年ぶりにお会いする作曲家の藤村一郎先生は、全くお変わりなく、優しい口調でした。その指導は、全く否定する事がなく、常に肯定的に指導して下さいます。気がどんどんうまくなるのがわかりました。

本番で動物が出てくるのは、誰も知りませんでした。多少気にはなりましたが、よくあの状況でみんな歌った！と思います。褒めてあげたいですね！さすが、あゆみのぞう&くじら組です。そして、児童さんも今回は全員の参加でなかったのが、とても残念ですが、少数でもしっかりと声を出して頑張ってくれました。児童さんの声があるからこそ、あゆみっ子も引つ張られ、頑張れるのです。そして、大人達！藤村先生の指導で、のびやかな歌声になっていきました。子ども達に「平和」の大切さが、きつと伝わったはずですよ。そして、私達自信も子ども達と同じように、歌い表現する事、みんなと共感しひとつの事をやり遂げた喜びを味わう事ができたのではないのでしょうか？

「らいおん組さんは、まだ乳児クラスです。眠気や母さんと離れることへの葛藤と闘いながら、すご頑張ったな」と思います。きりん組さんは、約半分の参加でしたが、みんな練習は、とてもよく歌い頑張っていました。この練習に参加するだけでも、すごい力になっていきますよ！ぞう組・くじら組は、大ハッスル！歌う事が嬉しくてしかたありません！嬉しすぎてハイテンション！抑えるのに一苦労...でも



藤村先生の「比べる事はできない、その時が素晴らしい！」「この言葉が、心に残ります。子育てにも、自分の人生にも...この言葉を生かしていきたいといいですね！！」また、いつか：みんなであゆれっしやを歌いたいですね！それまで、ひとりひとりが、心の中でぞうれっしやをしつかりと走らせていきたいと思います。



みんなで遊んだ後は、インドの人達に、「日本のかれー」を食べてもらいました。一緒に机に座って、ゆうくん・ゆうせいくんも嬉しくて、カレーをおかわりしました。怖かったさくらちゃんもニコニコです。こうくんは、ボーンフリーアートのお兄さんと、言葉遊びを楽しみながら食べていました。ジョンさんとおしゃべりがいっぱい「つきグループ」メンバー、怖かったおうちちゃんもニコリ！言葉はわからなけれど、なんとなく話しているうちちゃん！ジョンさんにカレーを食べさせようとするあつくん、嬉しくって片づけも忘れるひーやんでした。食後、少しの間でしたがお兄さんやお姉さんと触れ合って遊ぶ事ができました。いろんなことを体験している子ども達の心のどこかに、きつと「平和」が住みついているはずですよ。何年か先に、インドの事を学んだ時、ジョンさん達の事を思い出してほしいですね！



ぞうれっしやの歌の興奮が続く中、8月1日(月)ボーンフリーアートスクールの「ジョン・デバラジ氏と4人の仲間達」が、あゆみに遊びに来てくれました。肌の色も違い、大きな体のジョンさん、小柄ながら手を合わせ「ナマステ」「こんにちは」とインドと日本語のあいさつしてくれる4人の仲間に、はじめはちょっと緊張の子ども達、でも、一緒に歌ったり、踊ったり、ジョンさん達の素晴らしいパフォーマンスを見るうちに、子ども達はどんどんジョンさんとボーンフリーアートのマジックに...言葉が通じなくても、音楽や表現する芸術は、心と心「感性」で響き合うんですね。真っ白ならの子どもたちは、その感性を直感で受け止め吸収していきました。

インドには、今も日本の人口と同じ数くらいの子も達が、教育を受けることもなく、働いているそうです。ボーンフリーアートスクールの仲間たちもそんな子ども達でした。ジョンさんは、ストリートチルドレン達を少しでもなくしていこうと、スクールを開き、スクールの仲間たちと活動をされています。

ボーンフリーアートスクール=働く子ども、路上に生きる子ども、債務奴隷の犠牲となった子どもたちのためのアートスクール。インドのバンガロール市にて2005年に立ち上げられた。学校の教育信念は、「教育は楽しみから、楽しみは教育から」である。子どもたちを力づけることを実践し、潜在能力を引き出し社会にとって意義のある動力へと変換していくこと。子どもたちが正規の教育へ戻ることを第一の目的とする。実際に、教育現場から離れた年月が長ければ長いほど、子どもたちは学校という環境や生活パターンへ再び戻っていくことは決して容易ではない。そこで、教育への架け橋を「芸術」を通して興味や楽しみを引き出し、後の自己確立へつなげていく。

デバラジ氏とボーンフリーアートスクールの仲間来園

あゆみ後援会事業を開始！

「みんなの要求を実現するNPO法人あゆみ会」という視点から、そして総会まどめの記事にもありますが、あゆみ後援会として「あゆみ会」に「寄付」という形で支援するために、今年度から新たに次の三つの事業を開始しました。

●パソコン教室
講師をお迎えし、初心者から熟練者まで幅広く募集しています。また、月初めの教室は毎回テーマを決めて取り組んでいますので、ドシドシ参加をお待ちしています。
指導 児島義江

●ピアノ教室
週に1回30分から受付けています。
個人レッスン指導 神崎文子

●陶芸教室
初心者から経験者まで、どんなでも大丈夫。手作りの器を作ります。
指導 濱中裕美

どの教室も詳しい内容は保育園まで、お気軽に連絡をお願いします。



学童・保育園の行事から - キャンプ -

★学童クラブキャンプ 8月6・7日 憩いの森公園

キャンプ前には、子供たちの体調不良が続き心配していましたが、みんな楽しくキャンプを迎えることができました。

保護者の方の参加がとて多くたくさんお手伝いしていただき学童キャンプを終えることができました。

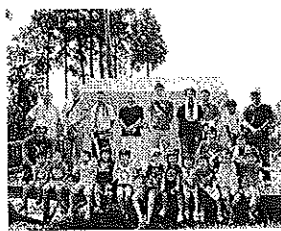
キャンプ目標としていた仲間同士のつながり合い、自然のなかでしっかりと体を動かし発散し楽しむ。という目標を達成できました。

問題が起こっても、お母さんやお父さんに甘えたり頼ることなく、自分の力や仲間の力で解決し、やりきることができました。このキャンプで子供たちひとりひとりの絆がとて深まり、違う形でもみんな成長できたとおもいます。



学童クラブにお手伝いに来ています。
あゆみ保育園卒園 平岡 峻です。
キャンプでは「火の神」がんばりました。

★保育園キャンプ 7月23・24日 野呂山



行ってきました！頑張ってきました！！楽しんでできました！父さん達、本当にありがとうございます！！今回は、年長だけでなく年中も一緒にキャンプでした。

くじら組さんは、やはりさすが「あゆみの年長さん」ですね！お泊まり保育園もキャンプも経験のないぞう組さんに、「キャンプはこんなことをするんよ！！」と、教えてくれていました。出し物の練習でも、自分達でやるんだ！見てもらうんだ！という気持ちが強く、集中して取り組む姿や、当日も真剣に〜でも楽しんでやっている姿は、とて素敵でした。ぞう組の荷物を持ってあげたり、声をかけてくれたりする姿も嬉しかったです。みんなの心に仲間を思う平和な心がやとっているから！ですよね。

ぞう組さんは、考えてみるとお泊まりも体験してしていないし…もしかしたら、父さんがいるとはいえ、一緒に行動するわけではないでしょうか？それを思うと良く頑張ったな〜と思います。くじら組もぞう組も本当に素敵でした。ひとりひとりをじっくり見てみると、それぞれ「頑張ったところと、課題が見つかったぞ！」というところは、あります。子供の現在の姿を丸ごと受け止めて、夏のプール活動で、それを生かしたり、補ったりしていけたらいいな〜と思います。何はともあれ！キャンプを全員が楽しみ、終えた事に感謝です。行ってくれた父さんや先生はもちろん、行けなかった父さん・母さん・先生達の優しい応援と励まし・協力がなく、このキャンプは絶対に成功していません！！本当にありがとうございました。

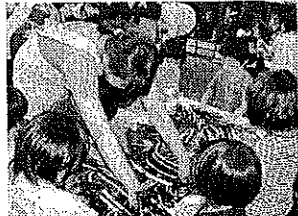


子育て支援 あそぼう会が毎回大盛況！

あゆみでは、以前から「子育て支援」として未就園児と保護者に参加してもらって、保育園児といっしょに「あそぼう会」を毎月開催しています。

今年度から、「赤ちゃんのあそぼう会」と「幼児のあそぼう会」と二つのグループに分けて行っていますが、口コミで新しい参加者が増え、毎回とてにぎやかになりました。

「赤ちゃんのあそぼう会」



「幼児のあそぼう会」



第8回後援会総会まとめ 5月28日(土)

1年前NPO法人化することが決まったのがもうずいぶん前に感じられます。あの時は何もしなければ、何も変わらない。とりあえず法人化し、社会的地位を確立して実績を積み上げ、その上で公的資金を貰える事業をして運営の安定化を図ろうということだったと思います。それが「なんということでしょう。」4月1日から「児童デイサービス事業」を立ち上げ、公的資金を予算化できるまでにはありません。

今回はNPO法人化したことにより、理事会の責任において、次々と難問をクリアし素早く行動した結果ではないかと思っています。私自身NPO法人あゆみ会の理事ですが、こんなに早く事業を立ち上げることが出来ていることに驚いています。創設期のOBパワーに圧倒されています。

このような理事会の中で意見を出し、議論し、その内容を



後援会事業・パソコン教室風景

次々と実現していくことができる。ほんとはやりがいを感じます。これがボランティアでなく仕事だったらもっと幸せかも…個人的な意見はともかく、激動の日本で福祉事業に乗り出したばかりですが「スピード感」をもって「動けるあゆみ」は、もう既に、次なる「日中一時支援事業」に向けての準備と検討に入っています。

後援会は、金銭的には、NPO法人「あゆみ会」に「寄付」という形で支援するとともにNPO法人の定款にない事業は後援会が引き受けるというように「あゆみ会」の活動の幅を広げる役割を担っており、今後、ますます後援会活動が重要になっていくと考えられます。

今後とも皆様のご支援・ご援助・ご声援の程よろしくお願ひ申し上げます。

2011年5月 後援会会長 鳥越 靖正



後援会事業・陶芸教室